

☆「松下幸之助と月の行事について」（笹原悠吾）

松下幸之助とは？

簡単に言うと...茶道の中のとてすごい人！！

▽松下幸之助について

松下幸之助は、茶道の精神は「素直な心」に通じており、茶道を広めることは「素直な心」の普及につながると教えていた。

日本の伝統的な茶道の心「人に対する気遣い」が、「おもてなしの心」が日本人にとって大切な文化であると想いをおもっていた。

茶道具においても伝統のものづくりにかける工芸作家の作品を実際のお点前に使い、伝統工芸の進行にも努めていた。

▽月の行動について（みなさんに伝えたいと思った月）

1月 お正月

お正月とは、年神様を迎えて昨年の実りと平穏に感謝し、新しい年の豊穡と平安を祈る行事。

二段に重ねた鏡餅は「福と徳」が「重なる」、ようにとの願いがこめられていると言われている。

また、「橙」はその読みから「代々」、家が続く縁起物としておめでたい物とされた。

5月 端午の節句

田の神を迎える行事として広まり、やがて武者人形などをかざる男子の節句に変化する。行事に欠かせない「菖蒲」を「尚武」とする武家の考え方が影響をあたえたと考えられている。

立身出世を意味する鎧兜や鯉のぼり、武士の魂を表すといわれるちまき、縁起の良い柏がかざられます。